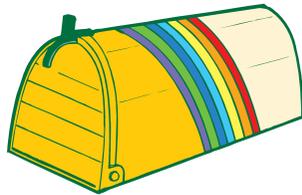


アメリカンポストにアクセントをつける

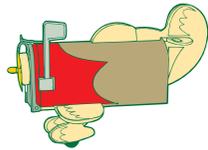
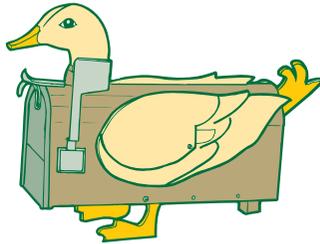
■オリジナルカラーに塗ろう

洋風の住まいにはアメリカンポストはそのままでもびったりよく似合っていますが、さらに虹色に着色したり、ポストにイラストのように飛行機や鳥のような首や翼をつけて遊んでみるのも面白いもので、郵便屋さんも楽しく配達してくれそうです。



■ポストをもっと面白くしよう

翼や首はボール紙で型を作り、適当な板に輪郭を書きこみ、ジグソーで切ってください。取付けはポストにドリルで穴をあけ、ペグα等のエポキシ系の接着剤をつけてから、柄の短いスタビッドドライバーでポストの中から木ネジで取りつけてください。



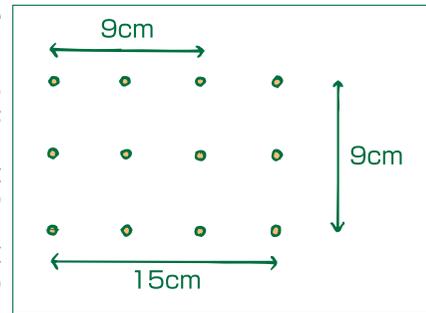
■ポスト・アクセサリーでアクセントをつけよう
ポストのそばにはキャスト・サイン（アルミダイキャスト製）に名前をつけたり、キャスト・ベルや風見鶏をつけてみましょう。木製の組立用の風見鶏も市販されていますので、工夫してポストのそばにつけると面白いでしょう。



ここがポイント!

ポストの底のガイド穴

ガイド穴の寸法は必ずイラストのようになっていますので、ポストの底と取りつける金具のサイズが合っているかどうか、測らなくても大丈夫です。どこかのボルト穴か必ずポストのボルト穴と一致するようにしています。



(社)日本DIY協会認定DIYアドバイザーが、ご質問にお答えいたします。お気軽にお声をおかけ下さい。

サービスのご案内



配送・宅配便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札・額の受注 スcrewキープ

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

ポストの種類と取付

自分でやってみよう!

セキチュー
How To D.I.Y

69



おしゃれなアメリカンポストを新しく取りつけたり、古くなってしまったポストを新しくしたい、しかしどのようにしたらいいのか分からないという方は、このハウツーペーパーをご覧ください。

ブロック塀に埋めこまれているポストも取り替えることができます。取り替える際はステンレス製のものにしたほうがサビないので長持ちします。

Do it Yourself & Save

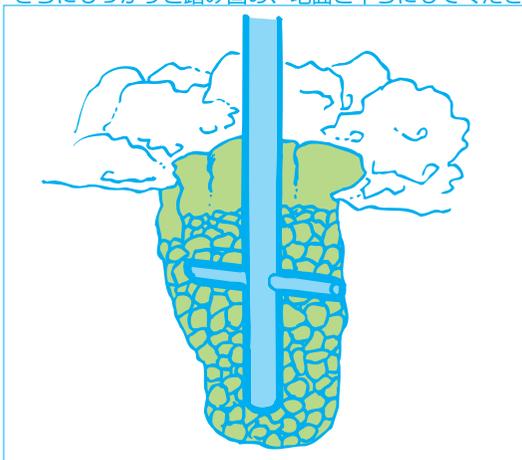
ポストの種類と取り付け方

ポール式アメリカンタイプの取り付け

1 深さ30cmぐらいの穴を掘る

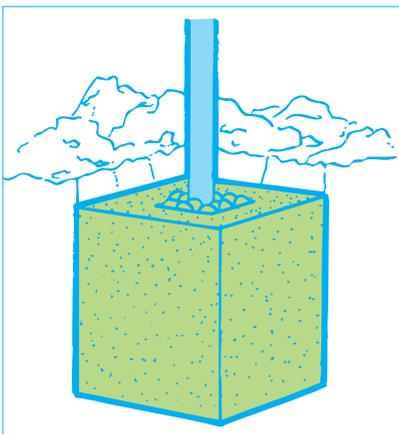
ポストを立てる位置に深さ30cmぐらいの穴を掘ります。穴に埋まる部分の下の方に付属の横棒を十字型になるように差しこんでから、ポールを穴に入れて立て、周りに砂利を入れてしっかりと踏み固めてください。

ポールを動かしてみてもぐらつかないようだったら土を上からかけて、さらにしっかりと踏み固め、地面と平らにしてください。



より安定させたい場合

2 フェンス用のブロックを穴の中に埋め、その穴にポールを立ててください。ポールと穴の間に砂利を詰めこみ、ぐらつかないか確かめてから、土を地面と平らになるようにかぶせてください。



ブロック塀のポストの交換

1 古いポストをはずす

まわりのモルタルに平タガネを当てて、大きめのカナヅチでたたきながらモルタルを落としていきます。裏と表両方のモルタルを落としてから、少しずつぐらつかせながらはずしていきます。



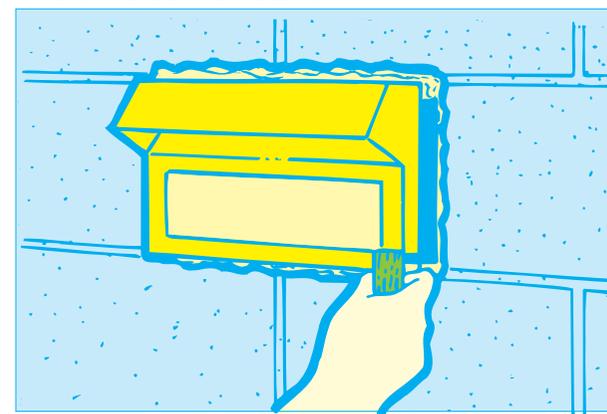
2 新しいポストをはめこむ

ブロックと同じサイズにできているポストをはめこみます。



3 まわりのすき間を埋める

ポストのまわりにすき間ができたときは、新聞紙を詰めて位置を調整してから、日曜セメントを練ってすき間を埋めていきます。目地の仕上げは目地コテを使うといいのですが、ないときはスプーンの柄で目地を整えてください。ポストについたセメントを拭きとってでき上がりです。セメントが乾くまで動かさないようにしておいてください。



フェンスや門扉にポストを取りつける

フェンスや門扉には、ステンレス製の専用の取り付け金具とポストをネジで止め、フェンスや門扉の上にはさみこむように差し入れ、ボルトと蝶ナットで取りつけます。このタイプはフェンスや門扉の上部に横に棧がある場合に取っつけできます。

